

令和元年5月7日

外来受診される患者様
患者様のご家族の皆様

山梨大学医学部附属病院長

処方箋のQRコードについて

山梨大学医学部附属病院は、令和元年5月13日（月）より、現在、受診時に発行している「院外処方箋」等の処方箋用紙のサイズを変更するとともに、別紙のとおり、「院外処方箋」に「QRコード」が印刷されます。

この「QRコード」情報は、皆様の持つスマートフォン内にダウンロードできる「**かかりつけ連携手帳**」アプリ（無料：5月7日以降ダウンロード可）で読み込みと保存ができます。処方内容、アレルギー情報、当日の注射内容、基本的な検査データ（6月中旬以降）を読み取ることができます。

患者さんの基本情報を記載することもでき、医療介護連携に利用できる健康情報や訪問看護・介護情報をはじめ、一般薬のバーコード情報なども保存できます。現在患者さんがご使用なさっている「お薬手帳」と同様に、医療機関受診時及び介護サービスを受ける際に患者さんが持ち歩くことを想定しています。

ご利用方法等詳細につきましては、別紙（掲示やパンフレット等）をご参照いただき、ご活用願います。

また、ご利用しなくとも、診療内容に変更はございません。

各患者さんのご意向により、本「QRコード」をご利用ください。

本件連絡先：山梨大学医学部附属病院 医療情報室 055-273-1111 内線2086 (平日8:30~17:15)
--

処方箋のQRコード

院外処方箋
(この処方箋はどの薬局でも有効です)

患者番号 0008997393
氏名 テスト イジ061
テスト 医師061

生年月日 昭和60年01月01日 33歳
科名 一内科 性別 男

交付年月日 平成30年09月03日

処方箋の
使用期間

保険医療機関の所在地及び名称
山梨県中央市下河原1110
山梨大学医学部附属病院
電話 055-273-1111
保険医療機関での自己負担分：病200以上

1版

保険者番号	06190011
被保険者番号	12345
公費負担番号	
公費負担医療の受給者番号	
区分	被保険者
保険医氏名	テスト 医師001 (印)
都道府県番号	19
点数表番号	1
医療機関コード	2110952

変更不可 個々の処方箋について、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更を差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

処方

6)	カルバマゾラムスルホン酸ナトリウム錠30mg「日工工」	9錠	1日分
	1回 9錠 (1日 9錠)		
	分1 朝食後30分		
7)	アンプロキソール塩酸塩徐放OD錠 45mg「サワイ」	1錠	1日分
	1回 1錠 (1日 1錠)		
	分1 朝食後30分		
8)	パファリン配合錠A 330mg	2錠	1日分
	1回 2錠 (1日 2錠)		
	分1 朝食後30分		
9)	ガスター錠 20mg	1錠	1日分
	1回 1錠 (1日 1錠)		
	分1 朝食後30分		
10)	ファモチジンOD錠 10mg「トーワ」	1錠	1日分
	1回 1錠 (1日 1錠)		
	分1 朝食後30分		

— 次ページへ続く —

備考

内服薬は頓服薬を除き1日量で記載しています。
複写の文字が表示されている処方せんは無効です。

保険医署名 (印なきものは無効)

公費負担番号

公費負担医療の受給者番号

保険薬局の所在地及び名称

保険薬剤師氏名

2/3

[処方箋QRコード]

調剤薬局の方へ
切り離して、患者さんへ渡してください。
変更時はQRコードを印刷して渡してください。

2019年5月13日より、**山梨大学病院の処方箋に、QRコード**がついてきます。

- 自分の処方内容を、「**かかりつけ連携手帳***」に記録できます。
- 保存された「**かかりつけ連携手帳**」を、**診療時に医師等に提示**すれば、お薬手帳と同じです。

★「**かかりつけ連携手帳**」は、個人の持つスマートフォンに、**無料で**ダウンロードできるソフトです。

★この機能を使うには、スマートフォンが必要です。
iPhoneは、App Storeから
Androidは、Google Playから

かかりつけ連携手帳アプリで
医療情報を患者の手に

生まれた時から現在までの一生涯の
医療データをスムーズに管理し活用しよう。

<https://phr-project.jp/>



iPhoneとAndroidでご利用いただけます。

処方以外のQRコード

患者番号 0008997393
氏名 テスト イジ061
テスト 医事061
生年月日 昭和60年01月01日 33 歳

【検査QRコード】



【注射QRコード】



【アレルギーQRコード】



- 基本検査項目データを、「**かかりつけ連携手帳**」に保存できます。
- 注射したデータ（当日分）を、「**かかりつけ連携手帳**」に保存できます。
- アレルギーデータ（ある場合）を、「**かかりつけ連携手帳**」に保存できます。

- ★調剤薬局での時間が短縮できることがあります。
- ★お薬による異常を、薬剤師が見つかることがあります。
- ★お薬手帳を忘れても、スマートフォンがあれば大丈夫です。

「かかりつけ連携手帳」は、医療機関だけでなく、訪問看護データ、自分の生活データ（食事、排泄、運動、いろいろな症状）を記録できます。地域包括ケアで、情報共有できるシステムです。

このシステムは、地域包括ケア、赤ちゃんから高齢者まで、生涯を通じて利用できるシステムです。



かかりつけ連携手帳 (ソフト)

- 個人のスマートフォン（アンドロイド版、アイフォン版）に、ソフトは無料でダウンロードできます。
(5月7日以降を予定)
- 1台のスマートフォンに複数人のデータを保存できます。
- 医療機関から、処方・基本検査・外来注射・アレルギー情報を提供します。
- 処方内容以外は、QRコードのみで提供されます。
- 医療機関からのデータは、他の病院・診療所で「提示」して、診療の参考データに利用できます。
- 医療機関（病院、診療所等）のデータだけでなく、訪問看護ステーションのデータも保存できます。
- 自分の生活情報（食事、排泄、運動、症状等）やバイタルデータ（心拍数、呼吸数、血圧等）をスタンプや数字で記録することもできます。
- 一般のドラッグストア等で購入した薬も、バーコードから入力、保存できます。
- スマートフォンを変更する場合、個人データを分ける際、バックアップする際、保存データを「無料」のクラウドを利用できます。
- 診療時や検診時のデータも保存できます。
- 地域包括ケアに活用できます。
- 予防接種のデータを保存できます。（作成準備中）

◎ スマートフォンを持っていない方、かかりつけ連携ソフトをダウンロードしない方でも、診療内容にまったく変更や影響はありません。